

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー :ヨーロッパ近現代史入門 ILAS Seminar :Introduction to Studies in Modern and Contemporary European History	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,FUKUMOTO KENSHI		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	12 (8)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Wed.5
Classroom	23, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. West Wing			Language of instruction	Japanese
Keyword	ヨーロッパ / 近代史 / 現代史 / ナショナリズム				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

本演習では、ヨーロッパ近現代史に関する文献の精読を行う。今年度のテキストは、M・ヴァン＝ヒンダーアハター、J・フォックス編著（金澤周作、桐生裕子監訳）『ナショナリズムとナショナル・インディファレンス 近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容』である。国民への、あるいはナショナリズムへの「無関心」を対象に、様々な事象を扱ったテキストを読み、19・20世紀ヨーロッパの多面的な歴史像や、ナショナリズム研究の現状と課題について理解を深めたい。毎週一章ずつ読み進め、担当者はレジюмеを作成し、それを基に出席者で議論する。

[Course objectives]

西洋近現代史に関する文献の精読と討論を通じて、研究に必要な知識や方法論の基礎を身につけ、また自らの考えを言語化できるようになる。

[Course schedule and contents]

1．イントロダクション

2．序章を読む

テキストの序章「ナショナル・インディファレンスと近代ヨーロッパ・ナショナリズムの歴史」（マルテン・ヴァン＝ヒンダーアハター／ジョン・フォックス）を読み、その内容について、金澤周作監修『論点・西洋史学』をサブテキストにして、そこで挙げられている論点を参考にしながら議論する。

3～13．本論（第1～11章）を読む

担当者は、該当箇所のレジюмеを作成し、報告・問題提起を行う。それを踏まえて、出席者全員で議論する。

3．「第1章 他のことで頭はいっぱい 19世紀ベルギーにおける国民文化プロジェクトの障害と限界」（トム・ウルスハフル）

4．「第2章 ナショナル・インディファレンスと国民的献身の往還 第一次世界大戦期ロシアにおけるトレンティーノ出身戦争捕虜の軌跡」（シモーネ・A・ベッレッツァ）

Continue to ILASセミナー :ヨーロッパ近現代史入門(2)

5. 「第3章 移行途上の迷い? アドリア海北部におけるハプスブルク帝国の遺産, 国家と国民形成, 新ファシスト秩序」(マルコ・プレシャールニ)
6. 「第4章 ナショナル・インディファレンスとトランスナショナル企業 チェコの製靴会社バチャのパラダイム」(ザカリー・ドルシャル)
7. 「第5章 ナショナリズムと無関心のあいだ 戦間期ユーゴスラヴィアにおける無関心の緩慢な排除」(フィリップ・エーデルヤッツ)
8. 「第6章 フランス人らしさへの複数の道 ナショナル・インディファレンスとアルザスのフランス復帰, 1919-1939年」(アリソン・キャロル)
9. 「第7章 政治を越えて 日常的民族実践としてのナショナル・インディファレンス」(ガーボル・エグリ)
10. 「第8章 国民への無関心・統計・構築主義パラダイム 戦間期ポーランドの国勢調査におけるトゥテイシ(「ここ出身の人々」)欄」(モルガン・ラベ)
11. 「第9章 20世紀前半の上シレジアにおける道具的ナショナリズム」(ブレンデン・カーチ)
12. 「第10章 「わたしは諸国民の境を取り払った」 第二次世界大戦終結期上シレジアにおける国民の乗り換えとローマ・カトリック教会」(ジム・ビョーク)
13. 「第11章 「ソヴィエト連邦市民 なんと荘厳な響きでしょう」 ポスト・スターリニズム期ソ連の投書・ナショナリティ政策・帰属意識」(アナ・ウィティントン)
14. 結論(第12章)と解題を読む
テキストの結論「結論 (再論) ナショナル・インディファレンスと近代ヨーロッパ・ナショナリズムの歴史」(ジョン・フォックス/マールテン・ヴァン=ヒンダーアハター/ジェイムズ・M・プロフィ)および桐生裕子による解題を読み、論文集全体の疑問点や批判点に関する考察をまとめたうえで、議論する。
15. フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

報告の内容、演習中の発言、出欠状況をもとに、平常点で評価する。

[Textbooks]

マールテン・ヴァン=ヒンダーアハター、ジョン・フォックス編著(金澤周作、桐生裕子監訳)『ナショナリズムとナショナル・インディファレンス 近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容』(ミネルヴァ書房、2023年) ISBN:9784623094356(入手方法については、別途初回に説明します。)

ILASセミナー：ヨーロッパ近現代史入門(3)

[References, etc.]

(References, etc.)

金澤周作監修 『論点・西洋史学』（ミネルヴァ書房、2020年）ISBN:9784623087792（入手方法については、別途初回に説明します。）

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回、決められた文献を読み、出席することが前提となる。また、報告担当者は、レジюмеを作成し、それに基づいて報告を行う。他の出席者からの質問に答えられるように、分からないところも調べてくることも求められる。

[Other information (office hours, etc.)]